

解答は別紙の解答欄に記入しなさい。

I 次の文章（イ）～（ニ）を読んで、文中の空欄（A）～（P）に該当する適当な語句をそれぞれの語群の中から選び、1～9の数字を、語群の中に適当な語句がない場合は0を、解答欄に記入しなさい。

（イ） 10世紀前半に（ A ）天皇の命で編纂された『延喜式』には、全国の（ B ）が記載されている。（ B ）は中央と地方を結ぶ官道に約16kmごとに設けられ、広域的な陸上交通制度の一環をなした。海上交通では12世紀頃から各地の湊に（ C ）が発達し、商品の中継と委託販売などを担った。売買手段には貨幣が多く用いられるようになり、主として（ D ）が利用された。

- | | | | | |
|------|------|------|-------|------|
| 1 村上 | 2 朱雀 | 3 醍醐 | 4 富本銭 | 5 宿駅 |
| 6 駅家 | 7 借上 | 8 問 | 9 宋銭 | |

（ロ） 江戸幕府は陸上交通の整備に注力し、幹線道路は17世紀半ばから（ E ）が管理した。陸上交通では御用通行が優先され、（ F ）における宿役人は（ G ）が輸送する公用の書状、荷物の継ぎ送りに従事した。物資の大量輸送のために水上交通の利用も拡大し、京都の豪商（ H ）は富士川などの水路開発に貢献した。

- | | | | | |
|-------|------|--------|--------|--------|
| 1 問屋場 | 2 帳付 | 3 河村瑞賢 | 4 伝馬役 | 5 今井宗薫 |
| 6 助郷役 | 7 関所 | 8 継飛脚 | 9 角倉了以 | |

（ハ） 1870年設置の（ I ）を中心に鉄道の敷設が進展し、1880年代からは民営鉄道の建設も盛んになった。これら民営鉄道のうち主要幹線は、1906年に（ J ）が率いる内閣の下で国有化された。政府は地方の交通インフラ整備にも着手し、1882～84年に福島県令を務めた（ K ）による会津三方道路の建設を一例に挙げることができる。日露戦争後には日本の満州進出が本格化し、南満州鉄道株式会社が設立された。同社はロシアから譲り受けた（ L ）・旅順間の旧東清鉄道などを経営した。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|---------|-------|
| 1 工部省 | 2 桂太郎 | 3 井上馨 | 4 西園寺公望 | 5 鉄道省 |
| 6 京城 | 7 逋信省 | 8 長春 | 9 ハルビン | |

（ニ） （ M ）年度の『経済白書』は「もはや戦後ではない」と記し、（ N ）景気の下で政府は国民所得倍増計画を定めた。大衆消費社会の到来で自家用車が普及し、（ O ）景気が続く1969年には（ P ）が全通した。

- | | | | | |
|--------|--------|----------|----------|--------|
| 1 1955 | 2 1956 | 3 オリンピック | 4 東名高速道路 | 5 瀬戸大橋 |
| 6 1949 | 7 岩戸 | 8 いざなぎ | 9 名神高速道路 | |

Ⅱ 次の文章（イ）～（ニ）を読んで、文中の空欄（A）～（P）に該当する適当な語句をそれぞれの語群の中から選び、1～9の数字を、語群の中に適当な語句がない場合は0を、解答欄に記入しなさい。

（イ）（ A ）の乱の2年後に父から位を譲られた（ B ）天皇は末代の賢王として知られる。遊興にふける父が天皇の位を得たのも、才能を期待された（ B ）への中継ぎとしてであった。（ C ）の乱に際しては、首謀者の（ D ）の手を逃れて平清盛邸に移ったことで、（ D ）の敗北が決定的となった。その後は父との二頭政治を経て、武力を握る清盛の支持も背景に実権を掌握したが、親政4年弱、23歳で病死した。

- | | | | | |
|--------|--------|------|---------|------|
| 1 藤原通憲 | 2 二条 | 3 高倉 | 4 承久 | 5 平治 |
| 6 藤原信頼 | 7 藤原頼長 | 8 堀河 | 9 治承・寿永 | |

（ロ）（ E ）の乱後に幕府が位につけた（ F ）天皇の子四条天皇は、周囲の大人に対して仕掛けた悪戯に自ら引っ掛かって夭折してしまう。跡を継いだ又従兄の（ G ）天皇も、父が（ E ）の乱に関与しなかったことから幕府に選ばれた天皇だった。彼は初め（ H ）天皇に跡を譲って院政を行うが、最終的にはその弟を後継者としたことで、南北朝内乱の遠因を作った。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|---------|------|
| 1 後宇多 | 2 後嵯峨 | 3 後醍醐 | 4 承久 | 5 平治 |
| 6 後深草 | 7 後村上 | 8 後堀河 | 9 治承・寿永 | |

（ハ）（ I ）天皇は、南朝から三種の神器を回収して皇統の再統一を果たすが、譲位後に子の称光天皇に先立たれ、『看聞日記』で知られる又従兄（ J ）親王の子後花園天皇へと皇統が移ることになる。後花園天皇は（ K ）の乱に際し、將軍を暗殺した赤松氏討伐を命ずる綸旨を発して、動揺する幕府を側面から支え、（ L ）の乱に際しては東軍本陣となった將軍御所に移り、そこで死去した。

- | | | | | |
|------|------|------|-------|------|
| 1 宗良 | 2 応永 | 3 貞成 | 4 後亀山 | 5 長慶 |
| 6 懷良 | 7 応仁 | 8 明德 | 9 後小松 | |

（ニ） 戦国時代の天皇は幕府から資金提供を受けられなくなり、（ M ）天皇の即位の儀式も、父の跡を継いで3年後にようやく安芸の大名（ N ）の援助を受けて挙行する。織豊政権の下で（ M ）とその孫（ O ）天皇は財政的安定を享受する一方、敵対勢力との講和仲介などで征服事業に協力する。さらに、秀吉が大内裏跡に築いた（ P ）に（ O ）天皇が行幸し、諸大名を集めて秀吉への忠誠を誓わせる場として利用させるなど、支配体制の構築にも貢献した。

- | | | | | |
|-------|--------|-------|-------|--------|
| 1 後陽成 | 2 毛利元就 | 3 聚楽第 | 4 正親町 | 5 大友義鎮 |
| 6 後水尾 | 7 大内義隆 | 8 伏見城 | 9 寺内町 | |

Ⅲ 次の文章の空欄（A）～（H）に該当する適当な語句を記入しなさい。

17世紀後半の日本では、支配体制の安定化を背景に、幕府や藩の文化事業が進展した。幕府の命を受けた林羅山・鷲峰は歴史書の編纂に従事し、その成果は1670年に『（ A ）』310巻として結実した。徳川光圀は『大日本史』の編纂に着手し、同事業のための編纂局を（ B ）館と名付けた。この館名は『春秋左氏伝』序の語句に由来している。また、徳川家綱を補佐した会津藩主の（ C ）は、1664年に私塾を同藩の学問所に取り立てた。岡山藩主の池田光政も1668年に郷学の（ D ）学校を設けるなど、学問の振興を図った。

一方、民間では歌舞伎が流行したが、幕府による女歌舞伎の禁止に続いて、少年の演じる（ E ）歌舞伎も幕府により1652年に禁止されたため、野郎歌舞伎が演じられた。また、上方の文芸も独自の隆盛を見せるようになる。その代表的人物の一人とされる井原西鶴は、西山宗因を祖とする（ F ）派の俳人として活躍した他、『好色一代男』等の好色物、『武家義理物語』等の武家物、『世間胸算用』等の（ G ）物といった（ H ）草子の作品を残した。

IV 次の史料（イ）～（ホ）を読んで設問に答えなさい。

（イ）丹後国^{ふかふ}嶋と云ふ所に、上人ありけり。極楽の往生を願ひて、万事を捨てて、臨終正念の事を思ひ、聖衆（ A ）の儀をぞ願ひける。……また^a 恵心僧都の、脇息の上にて、箸を折りて、「仏の（ A ）」とて、引き寄せ、引き寄せして、案じ始め給ひたりと云ふ説も侍り。

（ロ）廿日壬午、神泉苑に於て（ B ）を修す。勅して、左近衛中将従四位下藤原朝臣基経、右近衛権中将従四位下兼行内蔵頭藤原朝臣常行等を遣して、会の事を監せしむ。王公卿士、赴き集まりて共に観る。^b 霊座六前、^{きえん} 几筵^{きえん}を設け施し、^か 花果^かを盛り^{なら}陳べ、^{くぎよう} 恭敬^{くんじゆ}して薫修す。

（ハ）予、ものの心を知れりしより、四十あまりの春秋を送れるあひだに、世の不思議を見る事、ややたびたびになりぬ。……又^c 治承四年みな月の比、^{ころ} にはかに都遷り侍き。いと思ひの外也し事なり。をほかた、此の京のはじめを聞ける事は、（ C ）の天皇の御時都と定まりけるよりのち、すでに四百余歳を経たり。

（ニ）^d 予、二十余年以来、東西二京を歴見するに、西京は人家漸く稀にして^{ほとほとゆうきよ} 殆^{ちか} 幽墟^{ちか}に幾し。……東京の四条以北、乾良の二方は、人人貴賤となく、多く群聚する所なり。高家は門を^{なら}比^{なら}べ堂を連ね、小屋は壁を隔て^{のき}簷^{まじ}を接ふ。

（ホ）（ D ）に法勝寺たてられて、国王のうちでらにこれをもてなされけるより、代々みなこの御願をつくられて、六勝寺といふ（ D ）の御堂、大伽藍うちつづきありけり。

（原文を一部修正）

注 几筵：机と敷物 花果：花と果物 恭敬：つつしみ敬うこと
薫修：法会などを厳粛にとり行うこと

問1 史料（イ）は、鎌倉時代後期に無住によって編纂された仏教説話集である。その名称を記しなさい。

問2 空欄（A）に当てはまる、阿弥陀如来や菩薩などがこの世に現れ、往生を願う人を浄土に連れて行くことを意味する語を記しなさい。

問3 下線部 a の人物が著した、念仏往生を説いた書物名を記しなさい。

問4 空欄（B）に当てはまる、政治的敗者の怨霊や疫神を慰めて鎮魂する儀礼の名称を記しなさい。

問5 下線部 b で鎮魂の対象となった6名の人物のうち、藤原種継暗殺事件に関わったとされた人物名を記しなさい。

問6 下線部 c に該当する、新しい都の名称を記しなさい。

- 問7 空欄（C）に当てはまる，唐風を重んじ三筆の一人となった天皇の呼称を記しなさい。
- 問8 下線部dにみえる「予」は，日本最初の往生伝を著した人物である。その人物名を記しなさい。
- 問9 空欄（D）に当てはまる，平安京郊外の東北にあって，院政期に離宮や寺院が造営された地区の名称を記しなさい。
- 問10 史料（ホ）の内容と関わる時期における政治形態と経済的基盤について，100字以内で説明しなさい。

V 次の史料は、開拓使からの問い合わせに大蔵省が回答したものである。この史料を読んで、下の問に答えなさい。

a ㊦（黒田） ㊦（西村）

開拓使御中 大蔵省

「上州 b 富岡製糸場へ修行のため c 婦女子十五名程御使費を以て差し遣わされたく候間、手順且つ入費等詳細御承知なされたき」旨御申し越しの趣、承知致し候。入費之儀ハ別紙取り調べ差し進め候間、委細書面にて御承知なさるべく候。手順之儀ハ直ニ富岡表へ御差し向け相成り候方然るべく候えども、いよいよ御治定相成り候ハバ、御差し出し以前名前人員等御申し越しこれあり候ハバ、尚注意富岡表へ相達すべく候。此の段回答に及び候也。

明治六年六月四日

（原文を一部修正）

注 使費：経費 治定：決定

問1 下線部 a の「黒田」の印は、この文書を受け取って閲覧した開拓次官の印である。「黒田」とは誰か。(i) 氏名をフルネームで記しなさい。また、(ii) 出身の藩名を記しなさい。

問2 下線部 b について、機械や技術は主にどの国から導入したか。

問3 下線部 c について、このような女性労働者は当時何と呼ばれたか。漢字 2 文字で答えなさい。

問4 富岡製糸場の管轄はこの当時大蔵省であったが、翌年早々に他の省へ移った。どの省へ移ったのか。

問5 富岡製糸場は1893年に民間に払い下げられた。払い下げ先を漢字 2 文字で記しなさい。

問6 富岡製糸場を設立した政府のねらいはどのようなところにあったか。120字以内で記しなさい。